

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

海光る町学園 佐世保市立小佐々中学校

所在地 佐世保市小佐々町西川内132番地

校長 田雑 健

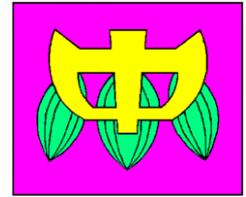
生徒数 186名（1年生63名、2年生61名、3年生62名）

〈校訓〉【学校教育目標】

英知 - 自ら進んで学ぶ小佐々中の生徒

信愛 - 心豊かな小佐々中の生徒

活力 - 健康でたくましい小佐々中の生徒



〈令和4年度の重点事項〉

学力向上・小中連携・地域人材の活用

1. テーマ

今年度研究テーマ

コミュニティ・スクールの特性を生かした学び場の工夫

2. 目的

本校では、学力向上プラン「『わかる・できる』楽しさを味わわせる」をテーマとし、学びの場を工夫した授業づくりを展開しております。そのために、地域人材を生かした授業の実践を研究し、授業改善を積極的に進めています。さらに、生徒の学習習慣の確立を目指し、学力の向上を実現するよう全職員一丸となって日々の教育活動に邁進しております。

また、小佐々っ子プラン「地域の教育力・財産を生かして小佐々で子どもを育てる」ことで、地域と協働・連携し、地域に開かれた・地域に理解された特色のある学校づくりを推進してまいります。

3. 実践内容

学力向上プラン 「わかる・できる」楽しさを味わわせる

☆校内研修と連動した取組☆

○授業改善による教師の指導力向上

○生徒の学習習慣の確立・学力向上

(1) 小佐々中学びのスタンダード (学習規律・授業の構え) の徹底



(2) 提案授業による検証

- ① 研究授業 (6回) 現職教育・研修 (9回)
- ② 地域人材を活用した授業

○ふるさと歴史発見学習

第1学年が、9月8日(木)に地域の郷土史家の方から、小佐々地区の歴史について学びました。ふるさと「小佐々」についての話の後、それぞれのコースに分かれ実際に史跡等の見学を行いました。生徒たちは、はじめて知ることも多く、改めて小佐々の良さを実感していました。学んだことは、ひとりずつ新聞にまとめました。



○職業講話・職場見学

第2学年が、10月26日(水)に事業所見学を行いました。

地元で活躍されている事業所の方々から仕事の内容や、やりがいなどについて実際に話を聴くことにより、自分の将来についての考えを深め、職業について学ぶ機会となりました。



○地域伝統文化学習

第3学年が、『小佐々の達人に学ぶ』をテーマに、郷土の伝統・文化について「箏」「書道」「案山子づくり」「わらじづくり」の4コースに分かれて、講師の方からその技能を教わりました。その成果を文化祭で披露しただけではなく、地域のイベント「コミュフェスこさざ」でも披露して好評を得ました。



(3) 学習習慣の確立

① 小中9年間で意識した取組

コミュニティ・スクールとして、2小・1中の教師で統一した指導ができるように目安を定めています。『海光る町学園 9年間の学びと育ちのスタンダード』には、「学習準備」「家庭学習」「読書」「あいさつ」「返事」「生活の規律・判断」の各項目を、発達段階に応じて示しています。年度初めに各学級で生徒に配付・説明し、各家庭にお届けしています。学びとともに一人一人の育ちも目指しています。

海光る町学園 9年間の学びと育ちのスタンダード



② 「授業の心得」「学習のきまり」

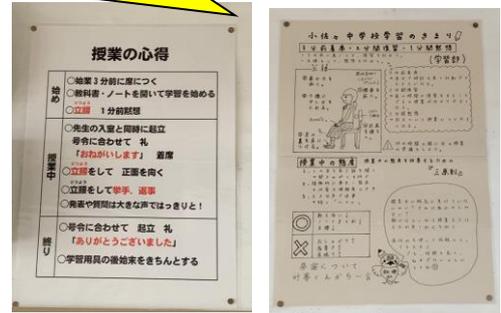
授業に真剣に臨むために、始業・終業の礼法を大切にしています。生徒会の学習部が主となり毎時間力を入れて取り組んでいます。また、始業前には、前時の復習と黙想を行うことで

落ち着いて授業を受けることができ
います。4月には「授業の心得」と「学習のきまり」
を確認し、1年間の授業への意識付けを行っています。

「授業の心得」「学習のきまり」
・始業、終業時のあいさつ・礼法
・学習の構えづくり

③ 生活ノート（忘れないゾウ）の活用

一日の振り返りや家庭学習の記録を毎日行うことで、
生徒自身が生活・学習習慣を見直すことができます。
担任とのやりとりをとおして課題の早期発見につなげてい
ます。



小佐々っ子プラン

地域の教育力・財産を生かして
小佐々で子どもを育てる

☆地域人材を活用した取組

- 地域の教材力を活用
- 地域の人材力を活用
- 地域のネットワークを活用

(1) 小佐々町の教材力を生かした取組

○ 海洋体験

小佐々地区の宝である自然のすばらしさを再認識するこ
とで、郷土への誇りと健康でたくましい小佐々中の生徒の
育成を目指しています。今年度は、3年生が7月13日（水）
小佐々海洋スポーツ基地でカヌー実習を行いました。



(2) 小佐々地区のネットワークを生かした取組

① 地域未来塾

未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を支えるために、
学校・家庭・地域がパートナーとして連携しながら放課後学
習を支援する取組として実施しています。

佐世保市教育委員会の主催事業で、実施にあたっては佐世
保市教育会に調整・運営等を行っていただいています。数学
の復習を中心に4名の講師の先生に指導していただしていま
す。「以前習ったところがしっかりと分かるようになった。」
と生徒たちも週に1回の学習を楽しみにしています。



② 学園交流・かがやきっ子会議

2月3日（金）に学園交流を開催しました。次年度入学予
定の小学6年生と中学校2年生が、授業交流等とおして新
入学生に対する不安解消や中学校の理解を促す取組を行い、
中1ギャップ解消を目指しています。また、各学校のリーダ
ーを育て未来の小佐々を支える人材としての育成も目的とし
ています。かがやきっ子会議は2月28日（火）に中学校の生
徒会役員と両小学校代表が小佐々コミュニティセンターに集まり、開催されました。小佐々地区の
児童・生徒のさらなる学校生活の向上に向けて様々な意見交換ができました。



③ 学園連絡会

小中の教師が、乗り入れ授業の計画や学習面の取組、生活面の指導などについて確認し、コミュニティ・スクール3校での共通実践を行うための会議の場を設けています。年3回実施し、学習面と生活面に関する小中9年間の連続した成長を支援しています。本年度は感染症予防の観点から、2回目以降は部会ごとの意見交換に留めました。



コミュニティ・スクールとしての取組

地域とともに子どもを育てる

つながりの中で行う教育活動

- (1) 目指す子ども像に向けた取組
 - 『おさかなあいさつ』～ 子ども版・大人版 ～
- (2) 地域の方たちの学校行事への参加
 - 唱歌を歌う会 他
- (3) 地域人材・教材を活用した取組
 - 教科・総合的な学習・各行事 等々
- (4) 地域行事への生徒・教職員の参加

4 成 果

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々な行事が中止・延期・規模縮小となりました。しかし、感染症拡大防止対策を講じながら、伝統文化学習、郷土学習インタビュー、職場見学、文化祭、学園交流等、多くの取組を復活させました。生徒たちは、今まで知らなかった地域の歴史や人々との出会い、一緒に学んできた小学生との新たな交流により自分のルーツを知ったり、地域の良さを改めて学んだりする機会を得ることができました。そのことにより、地域の人たちがより身近かな存在となるだけでなく、プレゼンテーション能力の向上や企画力の向上など、持続可能な社会を目指す社会人の一員としての礎を築いています。地域の方々や保護者からは「先生方や地域の方々の見守りに感謝している。」とのご意見をいただきました。教職員からは「コミュニティスクールであることを生かして行事を行うことができた。今後、様々な形で交流できる手ごたえを感じた。」との感想がありました。また、生徒からは「あいさつを中心に小中学校が協力して伝統を作り上げていてとてもいいと思う。」との感想があり、地域・保護者・生徒たちからのコミュニティスクールへの期待の大きさを感じました。

5 今後の課題

次年度は、本校の課題である学力向上に向けて一層、力を注いでいきます。本校の生徒は、学習面における主体性・積極性・継続性で課題を抱えており、期待する学力まであと一歩といったところです。

学力向上のためには、日々の学習習慣や生活習慣の確立が不可欠であり、生徒への働きかけとともに実践が必要です。また、学びの裾野を広げていくために保護者の皆様にも学校の取組をご説明し、ご理解ご協力をいただきたいと思います。

年度が変わっても実践を継続していけるように、系統化を図り、わかりやすく「伝えていくこと」が今後の課題です。生徒の良さを更に引き出し、コミュニティ・スクールとして、地域と共に育つ学校として、今後も教育活動を推進していきます。